

氏 名	森本 芳正
授与した学位	博 士
専攻分野の名称	医 学
学位授与番号	博 甲第 6896 号
学位授与の日付	2023 年 9 月 25 日
学位授与の要件	医歯薬学総合研究科 生体制御科学専攻 (学位規則第 4 条第 1 項該当)
学位論文題目	Significant Delayed Activation on the Right Ventricular Outflow Tract Represents Complete Right Bundle -Branch Block Pattern in Brugada Syndrome (ブルガダ症候群では、右室流出路の著明な伝導遅延により、完全右脚ブロック波形を呈する)
論文審査委員	教授 笠原真悟 教授 王 英正 准教授 高橋 賢

学位論文内容の要旨

背景: ブルガダ症候群の完全右脚ブロックの成因は十分に解明されていない。我々は、体表面心電図を用いて、完全右脚ブロックを合併したブルガダ症候群の患者の心室興奮伝導パターンを評価した。

方法と結果: ブルガダ症候群患者 11 人と完全右脚ブロック患者 8 人の対照患者の体表面心電図を記録し、心室興奮時間図を作成した。対照群は、心臓電気生理学的検査中に右脚近位部を一時的に障害した患者とした。前胸部領域を 4 領域（下外側右心室、右室流出路、心室中隔、左心室）に分割し、2 つのグループ間の心室興奮パターンを比較した。対照群では、興奮は左心室から心室中隔に伝導遅延を伴い右心室全体に伝播した（近位右脚ブロックパターン）。ブルガダ症候群の 7 人は、興奮が下外側右室から、右室流出路に著明な伝導遅延を伴い伝播した。残りの 4 人では、右室流出路に伝導遅延を伴う近位右脚ブロックパターンを示した。

結論: ブルガダ症候群患者では、近位右脚部に障害がない場合でも、右室流出路の著明な伝導遅延により、完全右脚ブロック波形を呈する。

論文審査結果の要旨

突然死を起こす完全右脚ブロックを持つブルガダ症候群においては、その成因とともに診断的意義が重要である。この研究では、体表面心電図を用いて、完全右脚ブロックを合併したブルガダ症候群の患者の心室興奮伝導パターンを評価した。ブルガダ症候群患者 11 人と完全右脚ブロック患者 8 人の対照患者の体表面心電図を記録し、心室興奮時間図を作成した。ブルガダ症候群の 7 人は、興奮が下外側右室から、右室流出路に著明な伝導遅延を伴い伝播した。残りの 4 人では、右室流出路に伝導遅延を伴う近位右脚ブロックパターンを示した。以上の結果から、ブルガダ症候群患者では、近位右脚部に障害がない場合でも、右室流出路の著明な伝導遅延により、完全右脚ブロック波形を呈すると結論づけられた。

予備審査における疑問点、問題点: この研究の成果は、心室頻拍の頻度、遺伝子異常、さらには突然死の予測に有用であるかを中心に議論された。この研究からはその結論は十分に出すことはできないが、経過中に進行した症例もあり、临床上も有用な情報をもたらすことが判明した。更なる研究の成果を期待したいと考えられた。したがって、この結果は重要な研究成果と考えられ、この研究は価値ある業績と認められた。

よって、本研究者は博士（医学）の学位を得る資格があると認める。